

大豊町のケアマネジメントに関する基本方針

大豊町では、介護保険の基本理念に基づき、『ケアマネジメントとは高齢者の自立支援、重度化防止及び生活の質（QOL）の向上に資するもの』と定義し、ケアマネジメントのあり方を町と介護支援専門員及び地域包括支援センター職員（以下「ケアマネージャー等」という。）で共有するとともに、ケアマネジメントの質を向上させることで、より良い介護保険制度の運営を図るため、次のとおり基本方針を定めます。

1 基本方針

(1) 介護予防ケアマネジメント

- ・介護予防ケアマネジメントは、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことができるように配慮して行われるものでなければならない。
- ・介護予防ケアマネジメントは、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、利用者の自立に向けて設定された目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、当該目標を踏まえ、多様な事業者から総合的に効率的に提供されるよう配慮して行われるものでなければならない。
- ・介護予防ケアマネジメントの提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者等に不当に偏ることのないよう、公正中立に行わなければならない。
- ・介護予防ケアマネジメント事業の運営に当たっては、町、地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者、指定介護予防サービス事業者、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組を行う者等との連携に努めなければならない。
- ・総合事業においては、高齢者自身が地域で何らかの役割を果たせる活動を継続することにより、結果として介護予防につながるという視点から、心身機能の改善だけでなく生きがいや役割を持って生活できるよう「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチしていくことが重要である。

(2) 居宅介護ケアマネジメント

- ・居宅介護マネジメントは、要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して行われるものでなければならない。
- ・居宅介護マネジメントは、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、利用者の自立に向けて設定された目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、当該目標を踏まえ、多様な事業者から総合的に効率的に提供されるよう配慮して行われるものでなければならない。
- ・居宅介護マネジメントの提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者等に不当に偏ることのないよう、公正中立に行わなければならない。

・指定居宅介護支援事業者は、事業の運営に当たっては、町、地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者、指定居宅サービス事業者、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組を行う者等との連携に努めなければならない。

2 基本取扱方針

(1) 介護予防ケアマネジメント

・介護予防ケアマネジメントは、利用者の介護予防に資するよう行われるとともに、医療サービスとの連携に十分配慮して行わなければならない。

・指定介護予防支援事業者は、介護予防の効果を最大限に発揮し、利用者が生活機能の維持・改善を実現するための適切なサービスを選択できるよう、目標志向型の介護予防サービス計画を策定しなければならない。

・指定介護予防支援事業者は、自らその提供する介護予防マネジメントの質の評価を行い、常にその改善を図らなければならない。

(2) 居宅介護ケアマネジメント

・居宅介護マネジメントは、要介護状態の軽減又は悪化の防止に資するよう行われるとともに、医療サービスとの連携に十分配慮して行わなければならない。

・指定居宅介護支援事業は、自らその提供する居宅介護ケアマネジメントの質の評価を行い、常にその改善を図らなければならない。